



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 康正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室 室長代行 (氏名) 佐々木 賢太 TEL 048-540-2825  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,743	△6.6	607	275.1	309	—	241	△73.1
2019年3月期第2四半期	26,492	△9.3	162	—	△83	—	897	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 107百万円 (△89.8%) 2019年3月期第2四半期 1,058百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.98	9.48
2019年3月期第2四半期	44.55	39.58

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	35,674	6,376	17.9
2019年3月期	38,055	6,269	16.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,367百万円 2019年3月期 6,269百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	3.3	1,100	46.1	800	91.5	600	△44.7	29.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	21,040,000株	2019年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	891,140株	2019年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	20,148,860株	2019年3月期2Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き横ばい基調に推移しました。米中貿易摩擦等に起因する世界経済の減速、度重なる自然災害、消費増税等により、先行きの不透明感が強まりつつあります。

深刻化する人手不足、タイトな物流事情、また、二酸化炭素削減、食品ロス削減に加えて昨年来海洋プラスチックごみ問題等環境問題に世界的関心が高まり、そうした外部環境の変化に対する対応が、当食品包装容器業界に問われております。

こうした中、当社は、第59期に3期ぶりの黒字化を実現し、今期は、事業基盤を強固にし、継続的に収益改善を果たすべく、「全員創意、変える意識、変わる中央化学」をスローガンに掲げ、生産、販売、物流の機能強化及びその連携を強める「オペレーション改革」に取り組んでおります。

国内では販売ポートフォリオの見直し等により当第2四半期連結累計期間の売上高は計画比未達とはなりましたが、利益水準は計画を上回るものとなりました。

事業再編が完了した中国においては、強くスリムな経営、生産効率の改善、品揃え拡充等により収益力が大きく改善しております。

以上の継続的活動の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が24,743百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益607百万円（前年同期比275.1%増）、経常利益309百万円（前年同期は83百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、241百万円（前年同期比73.1%減）となりました。

下半期につきましても、前述した事業環境を踏まえ、引き続き「オペレーション改革」を強力に推進すると共に、2つの事業戦略、「汎用容器事業の基盤強化」と「成長市場へのアプローチ」を深堀し、さらなる業績改善に取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

資産は、現金及び預金の減少996百万円、たな卸資産の減少499百万円や受取手形及び売掛金の減少393百万円、リース資産の減少353百万円等により、前連結会計年度末に比べ2,380百万円減少し35,674百万円となりました。

## (負債)

負債は、短期借入金の減少3,000百万円、支払手形及び買掛金の減少1,293百万円やリース債務の減少425百万円、電子記録債務の減少242百万円等があった一方、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加2,678百万円等により、前連結会計年度末に比べ2,487百万円減少し29,298百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益241百万円等があった一方、為替換算調整勘定168百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し6,376百万円となり、自己資本比率は17.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,665百万円となり前連結会計年度末に比べ996百万円の減少となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,145百万円やたな卸資産の減少394百万円等があった一方、仕入債務の減少1,303百万円等があり、746百万円（前年同期比184百万円の減）の収入となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得支出662百万円や固定資産取得による支出369百万円等があった一方、有価証券の売却収入433百万円等があり663百万円（前年同期比1,358百万円の減）の支出となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入収入4,000百万円があった一方、短期借入金の減少3,000百万円や長期借入金の返済1,321百万円、リース債務の返済633百万円により、955百万円（前年同期比741百万円の減）の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね前回（2019年5月13日公表「2019年3月期 決算短信」）の業績予想の想定の範囲内で進捗しておりますので変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,667	2,671
受取手形及び売掛金	7,868	7,475
有価証券	—	228
商品及び製品	5,657	5,294
仕掛品	709	698
原材料及び貯蔵品	1,129	1,003
その他	1,601	1,506
貸倒引当金	△11	△20
流動資産合計	20,622	18,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,166	5,115
機械装置及び運搬具（純額）	3,150	2,971
土地	4,329	4,329
リース資産（純額）	3,135	2,769
建設仮勘定	137	123
その他（純額）	521	497
有形固定資産合計	16,440	15,808
無形固定資産		
リース資産	29	41
その他	389	353
無形固定資産合計	419	394
投資その他の資産		
投資有価証券	263	258
長期貸付金	153	149
破産更生債権等	4	0
繰延税金資産	73	74
その他	246	292
貸倒引当金	△169	△160
投資その他の資産合計	572	614
固定資産合計	17,432	16,817
資産合計	38,055	35,674

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,486	6,193
電子記録債務	2,272	2,029
短期借入金	8,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,129	3,105
リース債務	1,233	1,148
未払金	1,902	1,894
未払法人税等	100	119
未払消費税等	268	177
賞与引当金	202	286
資産除去債務	11	11
その他	701	659
流動負債合計	24,307	20,626
固定負債		
長期借入金	3,305	5,007
リース債務	2,499	2,159
役員退職慰労引当金	33	37
退職給付に係る負債	1,023	948
債務保証損失引当金	9	9
資産除去債務	8	8
その他	599	501
固定負債合計	7,478	8,672
負債合計	31,786	29,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,212	7,212
資本剰余金	6,787	6,787
利益剰余金	△6,881	△6,640
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	5,948	6,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38	31
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	680	511
退職給付に係る調整累計額	△397	△353
その他の包括利益累計額合計	320	186
純資産合計	6,269	6,376
負債純資産合計	38,055	35,674

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	26,492	24,743
売上原価	20,537	18,616
売上総利益	5,954	6,126
販売費及び一般管理費	5,792	5,518
営業利益	162	607
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	4	5
受取賃貸料	20	19
持分法による投資利益	20	27
その他	89	66
営業外収益合計	145	127
営業外費用		
支払利息	109	85
手形売却損	22	19
売上割引	22	20
為替差損	165	219
その他	71	81
営業外費用合計	391	426
経常利益又は経常損失(△)	△83	309
特別利益		
固定資産売却益	2	1
関係会社株式売却益	1,070	—
特別利益合計	1,072	1
特別損失		
固定資産除売却損	2	9
構造改革費用	67	—
その他	0	—
特別損失合計	70	9
税金等調整前四半期純利益	918	301
法人税、住民税及び事業税	17	61
法人税等調整額	3	△1
法人税等合計	21	60
四半期純利益	897	241
親会社株主に帰属する四半期純利益	897	241



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	897	241
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△7
繰延ヘッジ損益	17	△1
為替換算調整勘定	52	△168
退職給付に係る調整額	79	43
その他の包括利益	161	△133
四半期包括利益	1,058	107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,058	107

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	918	301
減価償却費	1,329	1,145
構造改革費用	67	—
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△27
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,070	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	△31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△29	4
受取利息及び受取配当金	△15	△14
支払利息	109	85
為替差損益 (△は益)	106	76
有形固定資産除却損	2	7
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
役員退職慰労金	34	—
売上債権の増減額 (△は増加)	338	237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	254	394
仕入債務の増減額 (△は減少)	△748	△1,303
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	△89
その他	△185	80
小計	1,074	867
利息及び配当金の受取額	15	14
利息の支払額	△109	△88
役員退職慰労金の支払額	△34	—
法人税等の支払額	△14	△47
営業活動によるキャッシュ・フロー	931	746
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△314	△369
定期預金の預入による支出	△12	△12
定期預金の払戻による収入	12	12
有価証券の取得による支出	—	△662
有価証券の売却による収入	—	433
固定資産の売却による収入	2	0
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	933	—
貸付金の回収による収入	20	—
その他	58	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	694	△663
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	△3,000
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△914	△1,321
株式の発行による収入	2,000	—
リース債務の返済による支出	△799	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214	△955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,395	△996
現金及び現金同等物の期首残高	2,104	3,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,500	2,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,123	3,369	26,492	—	26,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	503	559	△559	—
計	23,178	3,872	27,051	△559	26,492
セグメント利益	312	108	421	△258	162

(注) 1. セグメント利益の調整額△258百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,804	2,939	24,743	—	24,743
セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	270	331	△331	—
計	21,865	3,209	25,075	△331	24,743
セグメント利益	679	172	852	△244	607

(注) 1. セグメント利益の調整額△244百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。